

この度は、福祉心理学科設立 50 周年誠にありがとうございます。

大学時代を振り返ると、2 年生時の心理学実験のレポート提出を大量に遅延したり、4 年生時のゼミのロールプレイで急に書籍で覚えたての心理療法を試したすなど、先生方にはたくさんのご迷惑をおかけしてしまったなど反省の気持ちが湧いてきます。その節は大変申し訳ございませんでした。

福祉心理学科での思い出をあげると枚挙がありませんが、やはり先生方からのご指導が非常に印象に残っております。当時、指導教員だった渡部純夫先生からは、ゼミでの活動を通して見立ての重要性やクライアントの話を身を入れてしっかり聴くこと、自己研鑽を怠らないことの大事さを教えていただきました。今思うと一学部生だった自分にとっては贅沢すぎる指導を受けていたと思います。また、当時着任したばかりだった柴田理瑛先生には、お忙しい中毎日数時間の研究指導をしていただき、頭が上がりません。こう改めて振り返ると、先生方からの時に厳しく、時に温かいご指導が現在につながっていると痛感します。現在は、大学の教員として学生たちの指導に当たっておりますが、大学時代に経験した先生方からの指導が現在の僕の臨床や研究、教育の基盤となっていることは間違いありません。

この場を借りて感謝をお伝えできればと思います。

また機会がありましたらぜひ 2 号館の 4 階にお伺いさせていただきます。改めまして、設立 50 周年誠におめでとうございます。

---

小林大介

- ・新潟青陵大学大学院臨床心理学研究科 助教
- ・2014 年度福祉心理学科卒業

